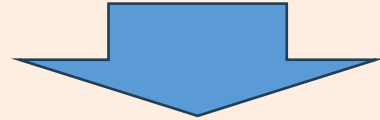


令和7年度 郷土教育推進研究の活動

郷土教育推進研究委員会・日野市立教育センター

第4次学校教育基本構想と郷土教育推進研究

社会と未来に開き、みんなでつくる（3つの基本方針より）



-地域を舞台として関わりの中で体験し学ぶ- ホンモノ・舞台、多様な参画、対話・協働（子供と大人の10+の姿）
「地域共創プロジェクト」（8+のプロジェクト）

郷土教育とは…郷土を深く理解し、郷土の魅力、郷土の課題を見つめることで子供なりの視点でふるさと日野を誇りに思い、良くしていきたいという願いをもって郷土で活躍する子供を育む教育

何故郷土教育… 1 自己肯定感形成の鍵 2 地域社会参画の鍵

郷土教育の推進 → 「社会と未来に開き、みんなでつくる」

研究主題

「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」

第4次日野市学校教育基本構想（抜粋）

- 地域を舞台として、ホンモノとの関わりの中で遊び、体験し学ぶ。
- 自分たちで考え、語り合い学び合い、対立を乗り越え協働する。
- 様々な当事者から応援され、多様な人材が活躍する。

今住んでいる地域の行事の参加
地域や社会のつながり
地域の大人からの応援

郷土教育において第4次日野市学校教育基本構想の具現化を目指し、授業を創意工夫します。

研究主題に迫る授業像

	郷土への愛着を高める児童	地域と共に生きようとする児童
授業で獲得が期待されること	• 郷土の人・こと・ものを知る。 • 郷土を身近に感じる。 • 郷土の良さや素晴らしさに感動する。 • 郷土を誇りに思う。 • 郷土の大切さ、かけがえのなさを感じる。 • 郷土の人々とつながる。 • 郷土に育まれ、郷土の一員である自分を自覚する。 ※「愛着」…心がひかれて、大切にしたいという思い	• 郷土を大切にしようとする。 • 郷土の営みに協力する。 • 郷土に貢献しようとする。 • 郷土を元気にしようとする。 • 郷土を発展させようとする。 • 郷土に育まれ、生活している自他を大切にする。 • 自己の郷土への思いを発信し郷土を愛する仲間を増やす。 • 郷土で培われた個性を生かし他地域や外国において自己の務めを果たす。
育みたい学習態度	～主体的・対話的で深い学び～ • 自ら課題、自ら解決…探究的に学習する。 • 人と関わることによって、考えを深めたり、新たな情報を得たり、協力・分担して研究したりする。 • ものごとを自分との関りでとらえる。 • 学んだことを通して自己の生き方を考える。 • 学んだことを発信する。	

研究組織

教育センター所長

委員長 副委員長 指導主事 1

顧問 4 教育センター所員 2

(事務局) 小学校教員 17

ふるさと文化財課学芸員 2

図書館司書 1 生涯学習支援課

中央公民館職員 1 (数字は人数)

A B C D の 4 グループを編成

研究の経過

回	月・日・曜	内容等
1	5・23・金	顔合わせ、委嘱状伝達
2	6・17・火	郷土教育フィールドワーク事前研修
3	6・24・火	午後フィールドワーク研修
4	7・30・水	午前講義演習 午後グループ研究
5	8・21・木	グループ研究指導案検討
6	9・26・金	グループ研究指導案検討
7	10・28・火	AB2会場で研究授業
8	11・11・火	CD2会場で研究授業
9	1・30・金	委員会内研究発表会
10	2・9・月	教育センター研究発表会

令和7年度

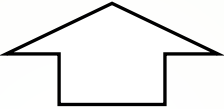
Aグループ

郷土の魅力を知り、発信する
ひのっ子の育成

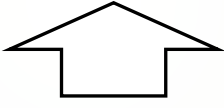
世話人 日野第五小学校教諭
旭が丘小学校主任教諭
豊田小学校主任教諭
日野第六小学校教諭
ふるさと文化財課学芸員
顧問 元百草台小学校長

Aグループ 研究テーマ設定の理由

郷土の魅力を知り、発信するひのっ子の育成



・それを伝え残そうとする人々の営みがある。自分たちにもできることはあるか。



・知らなかったけど、日野市には誇れるものがたくさんある！！
(ゴミの排出が少ない！ゴミ削減の取組・今も残る陸稻「ひらやまおかぼ」
現在の図書館のシステムを作った日野市 など)

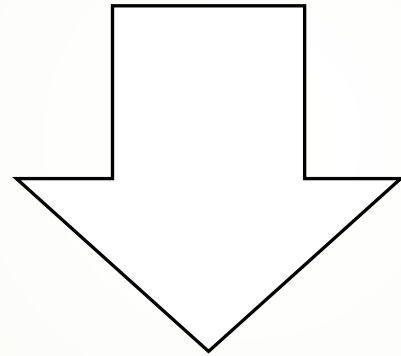


・自然が多い。
・歴史的な人物が関わっている。(巽聖歌、新選組など)



日野市の魅力とは？

郷土の魅力を知り、発信するひのっ子の育成



- ・ 各々が授業を一つ行う。
 - ・ 郷土の魅力について発見したり、自分たちにできることを考えたりする授業を展開する。
- 以上のことを各教員が実践した。

【実践 Aグループ研究授業】

6年 総合的な学習の時間
「まちづくりについて考えよう」

視点：地域の人々・もの・こととの関わりを通して、町づくりのために尽力してきた人々の思いや願いを理解し、よりよい町を未来につなげていくために、自分たちにできることを考え実践し、地域の一員としての自覚を養う。

ゲストティーチャー
にインタビュー



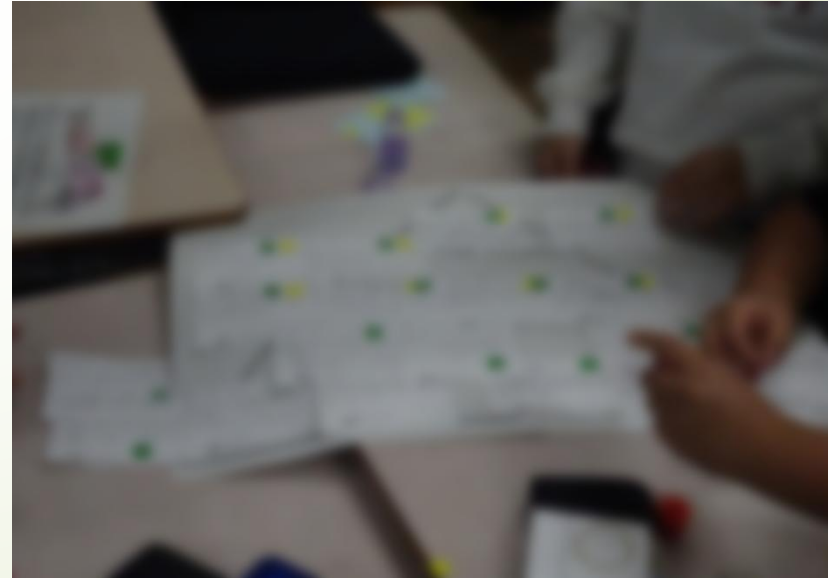
【実践 Aグループ研究授業】

- ①テーマごとに分かれ、ゲストティーチャーから聞いた話を整理した。
- ②自分達のグループの願いを叶えるために何を目的に探究活動を進めていくか
ピラミッドチャートで分類する。
- ③活動報告を行う。

整理分析



ピラミッドチャート



【実践 Aグループ研究授業】

授業を終えての成果と課題

○成果

- ・思考ツールを活用することで、児童は自分の考えを視覚的に整理することができた。さらに学習の見通しを立てやすくなったり、問題の解決方法に気付きやすくなったりして、意欲的に学習に取り組むことができた。
- ・ゲストティーチャーを同じ郷土教育推進研究委員会に所属の先生方へお願いすることで児童がより深い学びを得ることができた。

○課題

- ・今回は児童の探究テーマが「自然」「農業」「地域」「文化」に分かれたがもう一度機会があれば六小地域の特色である「工業」への意欲・関心を高めさせたい。
- ・子供たちにできることは限られているが、やりがいがありながらも子供にできることを事前にもっと考え、まとめておけるとよかった。

【実践②】 3年生総合的な学習の時間「地域のよさを伝えよう」

①社会の学習と関連付けて、東西南北にどんな地域のよさがあるかを見つける。



③稲の種類や育て方など詳しく話を聞く。



成果

②気に入った場所について、絵を描いたりメモをとったりする。

②はさがけ体験をする。

- 実際に地域をめぐって見学をしたり、地域農家の方々からお話を聞いたりすることで、自分の住む地域に「こんなよさがあるんだ」と気づき、地域のよさの理解を深めることができた。
- 地域のよさについて、見学や体験だけでなく、本やインターネットを使って調べてまとめたことでさらに理解を深めた。また、友達の発表を聞き、新たな発見や気づきもあった。

【実践③】

5年 総合的な学習の時間

『日本の伝統文化』

視点

日本の伝統文化について体験したり調べたりする中で、日本の伝統文化のよさやそれらに関わり受け継いでいる人々の思いを理解する。



農家の方から田植えを教
えていただいている様子



脱穀の様子

○成果

・実際に農家の方の話を聞いたり、農作業を体験したりしたことで、農作業への興味関心が高まるとともに、作物を作ることの大変さを実感することができた。

○課題

・田植えをした後から脱穀までの間、米作りへの関心を持続させることが難しかった。

【実践④】

4年 社会

『地域で受け継がれているもの』

視点

地域で受け継がれている年中行事や文化財について知り、受け継いでいる人の思いに気付くことができる。

○成果

- ・自分たちが住む市にも受け継がれている年中行事や文化財があることと「ひの新選組まつり」などの祭りを残していきたいと願う人々の気持ちに支えられて、祭りが受け継がれていることに気付かせることができた。

○課題

- ・ゲストティーチャーなどを活用できると、児童の考えをより深めることができた。

成果と課題

成果

- ・ ゲストティーチャーの活用による
児童の興味・関心の高まり。
- ・ 郷土教育を授業に取り入れること
が郷土について考えるきっかけに
なった。

課題

- ・ 研究テーマの選定
- ・ 郷土の人への注目
- ・ 単元計画との兼ね合い

令和7年度

Bグループ

郷土のことを学び、魅力を伝えるひのっ子の育成
～日野大好き大作戦！～

世話人 南平小学校主任教諭
平山小学校教諭
滝合小学校主任教諭
仲田小学校教諭
ふるさと文化財課学芸員
顧問 元仲田小学校長

研究テーマ設定の理由

研究テーマ「郷土のことを学び、魅力を伝えるひのっ子の育成」

～日野大好き大作戦！～



まだ知らない日野市の魅力を発見し、
大切に守っていききたい



豊かな自然 長い歴史



日野市の素敵な魅力とは？



日野市が大好き

学習テーマ

研究テーマ「郷土のことを学び、魅力を伝えるひのっ子の育成」

～日野大好き大作戦！～



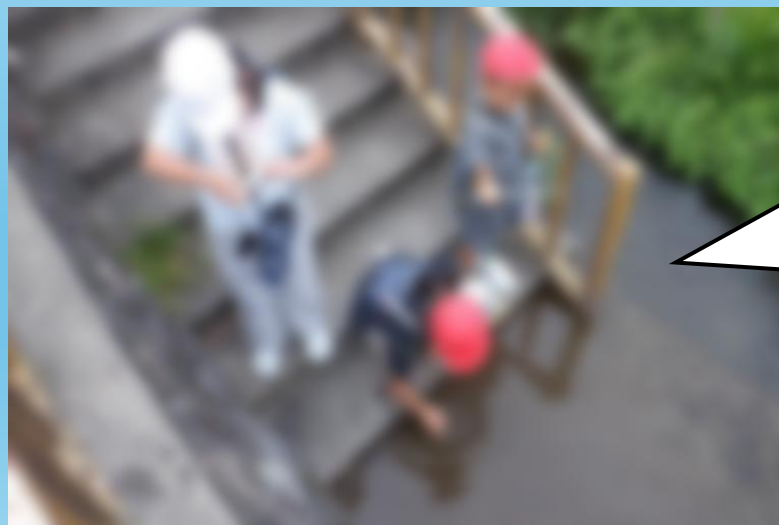
- ぼくらは用水探検隊（３年生：総合的な学習の時間）
- 日野市の地層からみる歴史発見（６年生：理科）
- 日野市バズらせ王決定戦（６年生：総合的な学習の時間）
- 平山おかぼを育てよう（４年生：総合的な学習の時間）

【実践①】研究授業 第3学年総合的な学習の時間「ぼくらは用水探検隊」

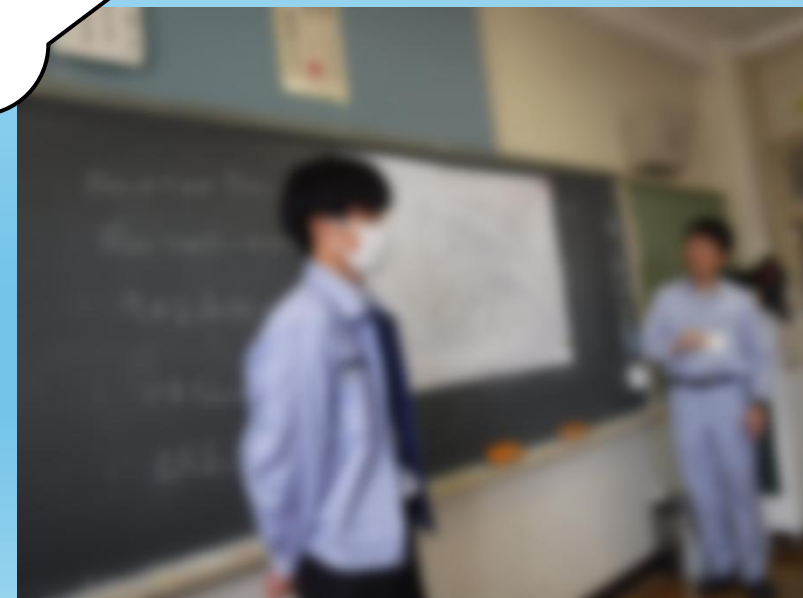


フィールドワーク①
課題発見の為、学年全員で用
水探検に行きました。

ゲストティーチャーとして「ふるさと文化財課
の金野さん」「緑と清流
課の方」にお話を聞き
ました。



フィールドワーク②③
課題別で、児童が見学場所(上
堰、下堰、仲田周辺)を選択し
フィールドワークを行いました。



【実践①】第3学年総合的な学習の時間「ぼくらは用水探検隊」



調べた情報をグループ新聞にまとめました。

学習のまとめとして、2年生に向けて発表をしました。



- リサーチタイム(フィールドワーク、ゲストティーチャーへのインタビュー、書籍やインターネットでの検索)を設定し、聞く機会を複数回取り入れ、児童が主体的に学べるよう、授業を展開できた。
- 用水が昔も今も大切にされていることを知り、今後も大切にしていこうという気持ちを高めた。

実践②「日野市の地層からみる歴史発見（6年生：理科）」



地層の様子を観察し、そこに含まれる土の種類
（礫、砂、泥）を観察する。



他地域に比べ、丸みを帯びた礫の層が多く確認することができた。



「日野市にある地層は、どのようにしてできたのだろうか？」

日野市の地形図や地層の様子を手掛かりに、児童が「日野市の地層のできかたの仮説」を考える。

【実践③】第6学年総合的な学習の時間「滝合プロジェクト」

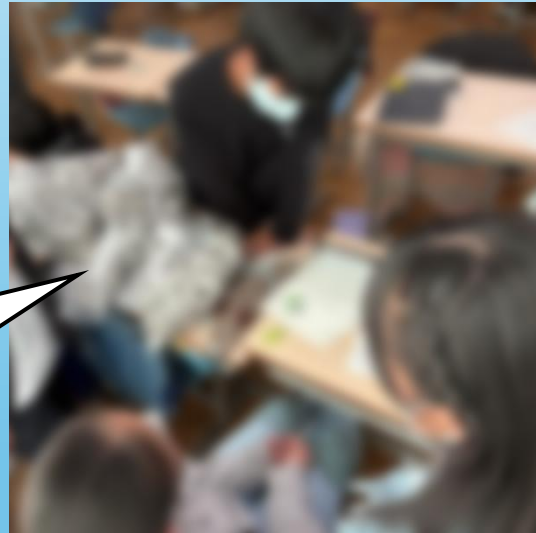


①滝合地区の良さや課題は何かな？

②日野市役所の方に来てもらい、プロジェクトの思いや考えを聞きました。



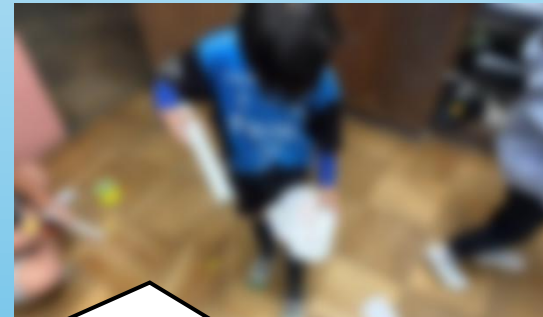
③計画を立て...



④プロジェクト始動 !!



一年生に外来種、在来種についてゲームで伝えました。



- 児童が地域の良さを多角的に知る良いきっかけとなった。
- 日野市の「日野バズらせ王決定戦」とコラボすることで、児童がより主体的かつ探究的に学習できた。

【実践④】第4学年総合的な学習の時間「平山おかぼを育てよう」



①たくさん大きくなるかなあ？

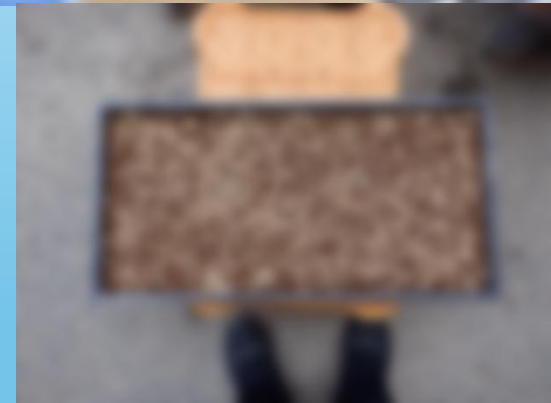
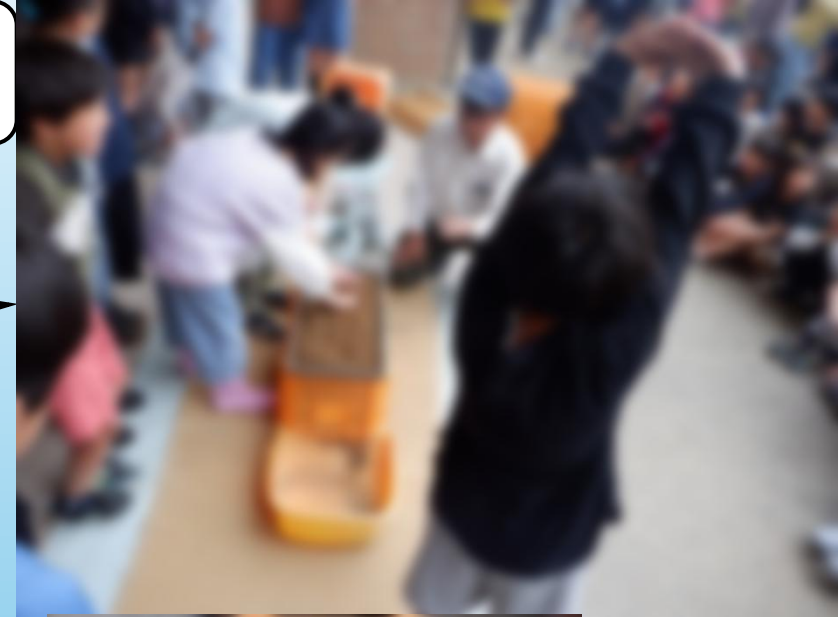
②農家さんにたくさん教えてもらいました。

初めての体験がいっぱいでした。

③楽しかった！



④成長が楽しみ。



- 児童が平山陸稲を植える体験ができたことがよかった。
- 日野市の農家の方々と一緒に活動したことで主体的に活動することができた。

成果

- 日野市への理解の深まりから教員自身の郷土愛の深まり。
- 郷土教材を学習活動に活用する授業設計への理解の深まり。
- 教科書の学習教材と郷土教材の横断的活用による児童の学習への興味関心の高まり。
- 郷土を理解する体験活動による児童の学習への理解促進。
(フィールドワーク、ゲストティーチャー)
- 協働的な学習場面の設定による、児童の問題解決能力の高まり。

課題

- ゲストティーチャーの常時的な活用における調整の難しさ。
- 限られた郷土資料の活用における難しさ。
- テーマの広がりによる、学習の焦点化の難しさ。
- 児童の学習への課題意識における個人差の問題。

令和7年度

Cグループ

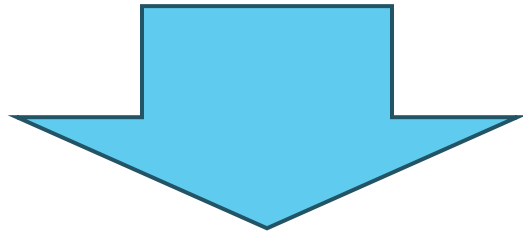
身近な地域を教材に、郷土の良さに気付く
ひのっ子の育成

世話人 夢が丘小学校教諭
潤徳小学校教諭
日野第八小学校教諭
七生緑小学校教諭
高幡図書館司書
日野第三小学校副校長
顧問 日野第三中学校長

(1)研究テーマについて

令和7年度 郷土教育推進研究委員会 研究主題

『郷土への愛着を高め、
地域と共に生きようとするひのっ子の育成』



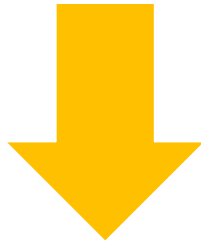
Cグループ研究テーマ

「身近な地域を教材に、郷土の
良さに気付くひのっ子の育成」

(1)研究テーマについて

Cグループ研究テーマ

「身近な地域を教材に、
郷土の良さに気付くひのっ子の育成」



- 各学校の身近な地域とは何か。
- 何を教材にすると郷土の良さに気付くことができるか。

児童が身近に感じる地域について知り、
郷土の良さに気付かせる。

(2) 研究授業について 3年 総合的な学習の時間 「高幡不動尊はかせになろう」



八小とオンライン交流



高幡不動尊フィールドワーク

課題の設定

近隣校の日野八小の3年生から社会科見学で行った高幡不動尊についての学びを聞き、探究課題を設定する。

情報収集

主体的な学び

探究活動では、フィールドワークを核とした。実際に高幡不動尊を訪れ、地図を持って境内を見て回る。実際に体験する。高幡不動尊の方にインタビューをする。インタビューを通し、人々の思いを聞く。

整理・分析

課題解決

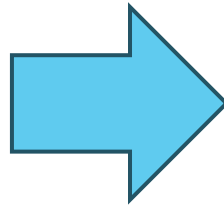
まとめでは、日野八小の3年生に学習の成果を発表する。また、日野市立図書館に展示を行ってもらい、多くの人に学習したことを広げる。

(3) 授業実践① 5年 総合的な学習の時間 「ひのはちから創る SDGs！」

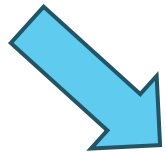
地域へインタビュー



調査結果を共有



自分たちにもできることを考えて、活動を広げる。



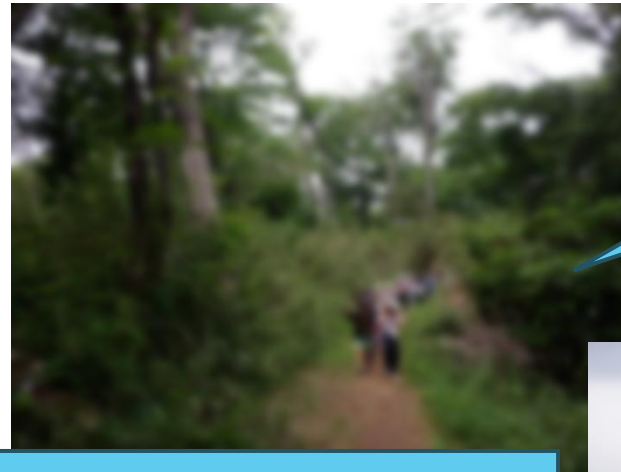
(3) 授業実践② 4年 社会 「わたしたちの東京都の様子」

【校外学習】

南平丘陵散策コース・かたらいの路を歩く

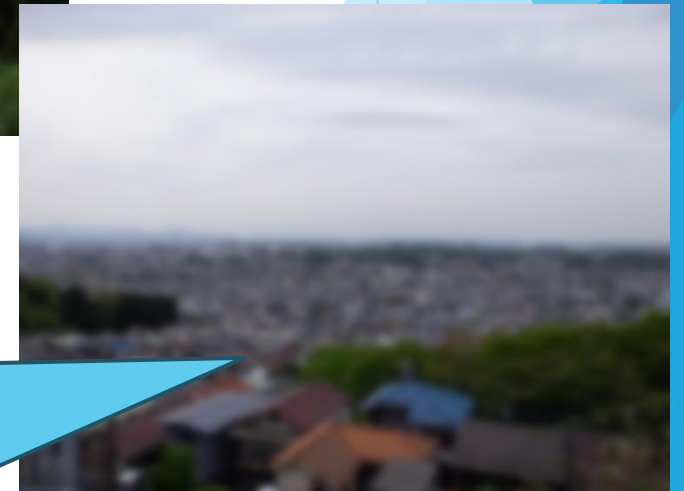


夢が丘小学校や自分たちの住んでいる地域は丘陵地にある！



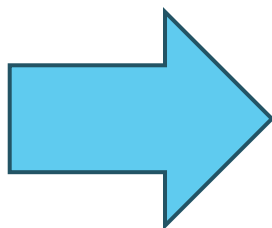
高低差のある道

自分の住んでいる地域を眺めてみると・・・
・高低差のある土地に自分の家が建てられている。
・自分たちは少し土地の高いところに住んでる・

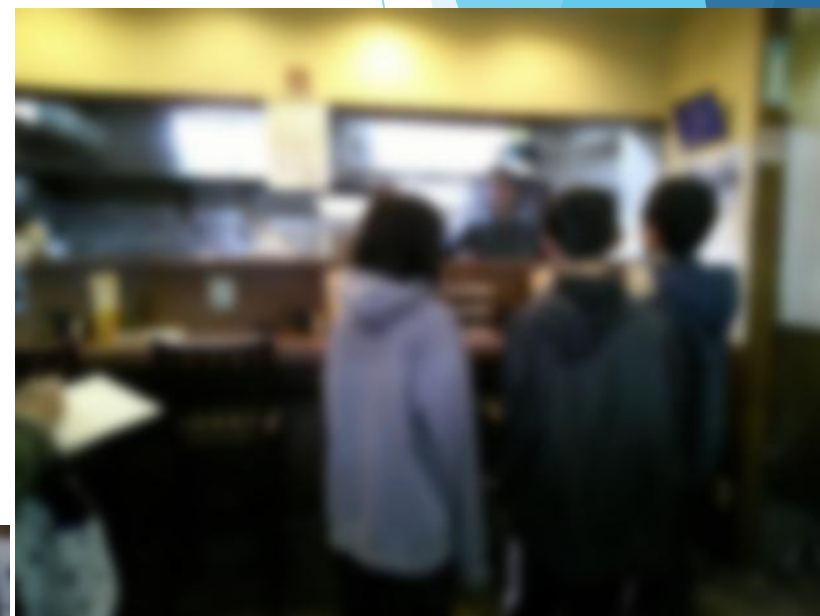


(3) 授業実践③ 6年 総合的な学習の時間 「発信！七生緑編集部」

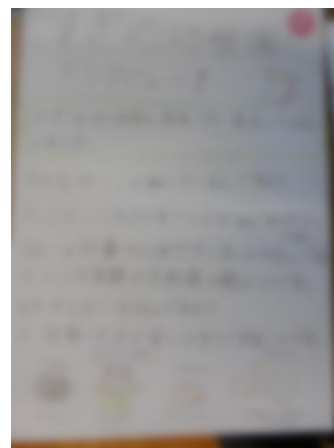
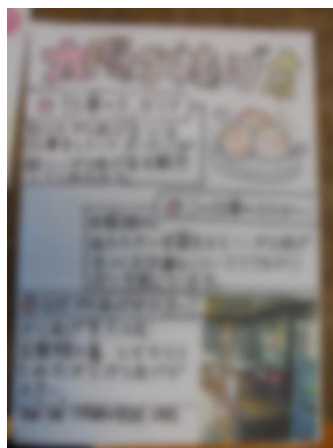
自分たちの住む地域
にはもっと魅力が
いっぱいあるはず！



【取材活動】



【ポスター作成】



(4) 実践 図書館での取り組み

- ▶高幡図書館にて「日野の昔話」をテーマに展示を行った。(25冊)
- ▶特に程久保地域に関わりのある「生まれ変わりの勝五郎」について取り上げ、紹介ポスターを作成した。
- ▶放送中のドラマのモデルとなっている小泉八雲との関わりも紹介した。



研究の成果と課題

成果：

- ・ 体験による主体的な学び
- ・ 発信活動を通して、主体性と学びの深まり
- ・ 学校間の枠を超えた学びの広がり

課題：

- ・ 学年間・学校間での系統的なつながりの整理
- ・ デジタル技術の活用による継続的な情報共有

令和7年度

Dグループ

身近な地域の歴史や文化を知り、
郷土を愛するひのっ子の育成

世話人 東光寺小学校教諭
日野第一小学校教諭
日野第三小学校教諭
日野第四小学校教諭
日野第七小学校教諭
生涯学習支援課中央公民館
顧問 元日野第一小学校長

* 目次

- 1 研究テーマ
- 2 研究授業～教材決定～
- 3 研究授業～教材研究～
- 4 実践例の紹介
- 5 成果と課題

1 研究テーマ

身近な地域の歴史や文化を知り、 郷土を愛するひのっ子の育成

- ・身近な地域の歴史や文化

→昔の生活と現在の生活のつながり、昔の人の思いや考え

「気付く」「学ぶ」「引き継ぐ」 児童の育成

- ・郷土を愛する

→「愛する」ことって難しい… 長い時間をかけて積み重なっていくもの

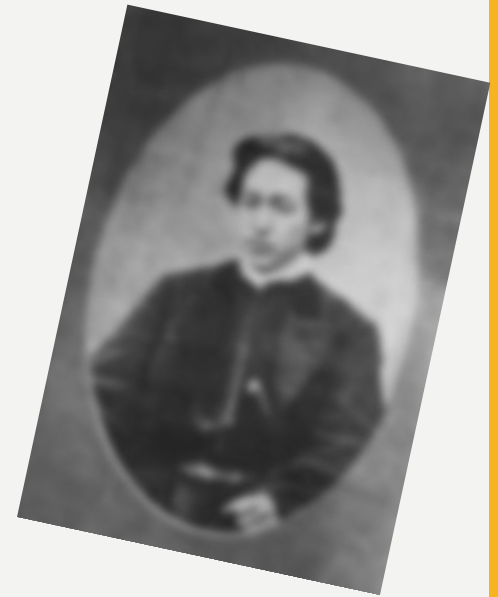
⇒**「関心をもつ」「（郷土のことを）考える」「誇りに思う」**

郷土教育の時間をこのような時間にしたい！

1 研究テーマ

身近な地域の歴史や文化を知り、 郷土を愛するひのっ子の育成

- ・「道徳科教材」の開発
- ・個人研究として授業の実施



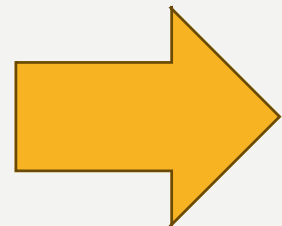
2 研究授業～教材研究～

◎「道徳科教材」の開発



土方 歳三 道徳との関わり

- ・**身分制度**の厳しい時代、百姓の家に生まれる。
- ・努力を惜しまず、「**武士になりたい**」という**強い意志**
- ・「武士になる」という**夢を追いつけ**、かなえることができた。
- ・「鬼の副長」と呼ばれるも、**仲間を思う心**



内容項目【A 努力と強い意志】

2 研究授業～教材研究～



まんが／星野泰視

監／落合弘樹

『小学館版

学習まんが人物館

土方歳三と新選組』

小学館

3 【実践①】研究授業（事前授業）

5年 道徳

主題名 「強い意志で」【A 努力と強い意志】

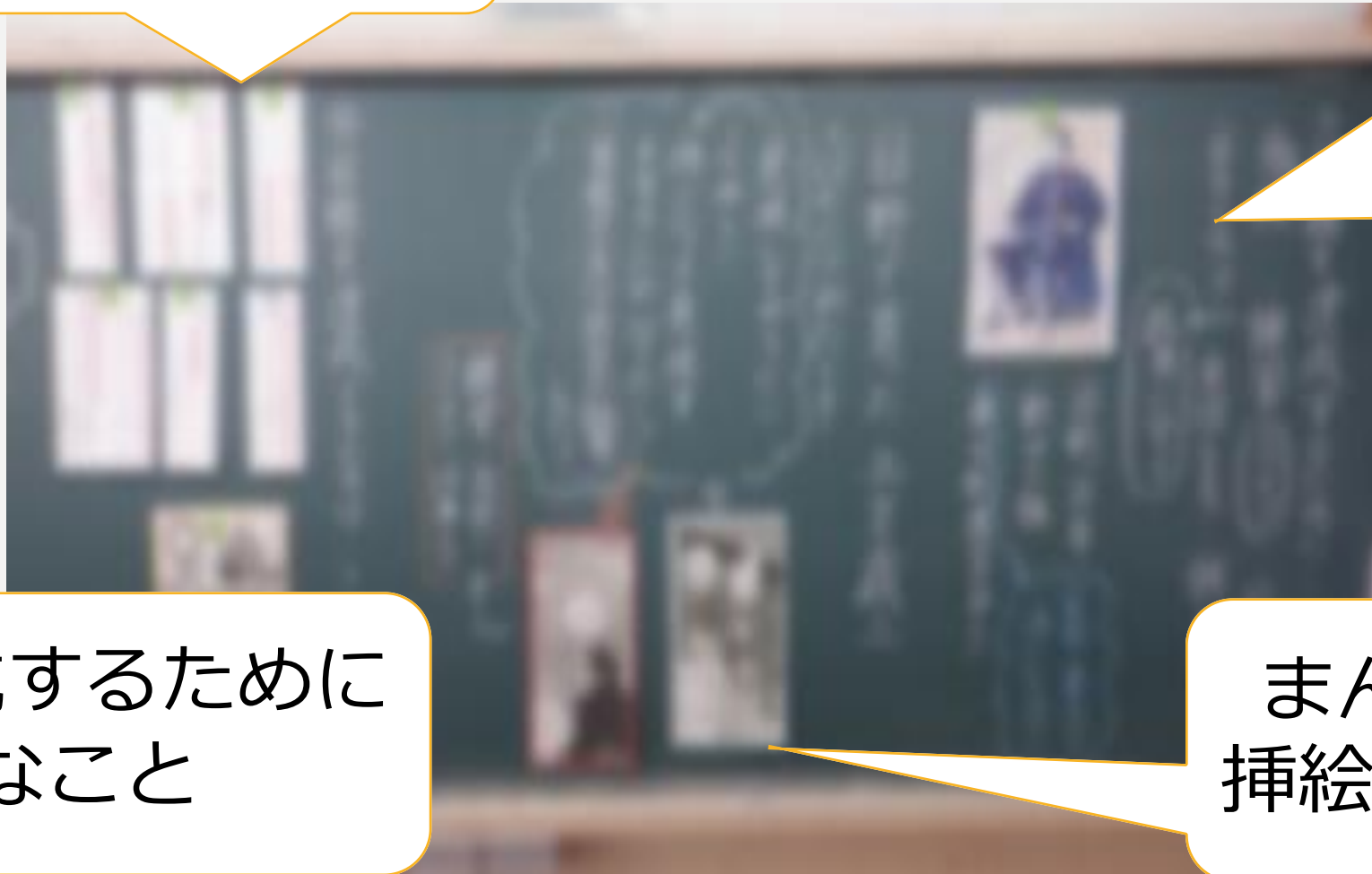
教材名 「日野で育った 土方歳三」

歳三の武士になるための
努力や強い意志

日野との
関わりや
生い立ち
を確認

目標を達成するために
必要なこと

まんが資料を
挿絵として活用



3 【個人実践①】 4年 総合的な学習の時間「日野用水について調べよう」



日野用水・多摩川・よそう森公園に見学



テーマごとに分かれて調べ学習



スライドで発表

**自分たちの住む地域への
興味・関心
「大切にしたい」「守りたい」
郷土を愛する心**

3 【個人実践②】 4年 社会「受けつがれる祭り」



自分たちの住む地域への
興味・関心
「大切にしたい」「守りたい」
郷土を愛する心

5 成果と課題

	成果	課題
研究授業	➤ 日野市に関わりのある人物を教材として活用した。 ⇒児童の興味・関心を惹くことができた。 ➤ 歴史上の人物はまんが教材があるため、道徳科以外にも使いやすい資料が多い。 ⇒児童に提示する内容を広げたり、狭めたりすることができる。	➤ 道徳科では、郷土教育としての側面が薄くなってしまう。 ➤ ほとんどが開発教材になってしまうため、教員の負担が大きくなってしまう。
個人実践	➤ 日野用水について探究を進め、日野が「緑と清流のまち」を掲げる背景を児童が実感できた。 ➤ 身近な場所にある文化財に強い関心をもって、意欲的に調べることができた。 ➤ 地域の歴史や人々の思いに気付き、自分たちにもできることを具体的に想像して考えることができた。	➤ 関わりのある方を招いて話を聞けたらよかった。 ⇒ゲストティーチャー等の一覧 ➤ 児童のもっと調べたいという思いに添って、授業時間を十分に確保することが難しかった。 ⇒既存の単元計画との調整・見直し

ふるさと文化財課・図書館・生涯学習支援課（中央公民館）との連携

- 毎回の委員会にメンバーとして参加
- 授業づくりのための情報や資料提供
- 夏季研修会への協力



フィールドワークの案内



フィールドワークの振り返り

明日に伝える戦争体験 戦後 80 年 ～平和をつなぐ

一戦争で苦しむのは いつも名もなき人々だ一

戦後 80 年の今夏、「二度と戦争の惨禍（戦争によってもたらされる悲惨な出来事や被害、苦しみ）を繰り返さない」という願いを込めて、これまで日野市が市民の方々から集めた戦争関連資料を展示します。



昭和 55 年（1980）前後に出された戦争についての日野市内小学校の文集（西田敦子氏所蔵）
この頃の子どもたちは、戦争を体験した祖父母や父母から戦争の話をじかに聞くことができた。

令和 7 年（2025 年）

7 月 26 日（土）～ 10 月 19 日（日）

休館日：毎週月曜日（ただし、祝日の場合は開館し、翌平日休館）

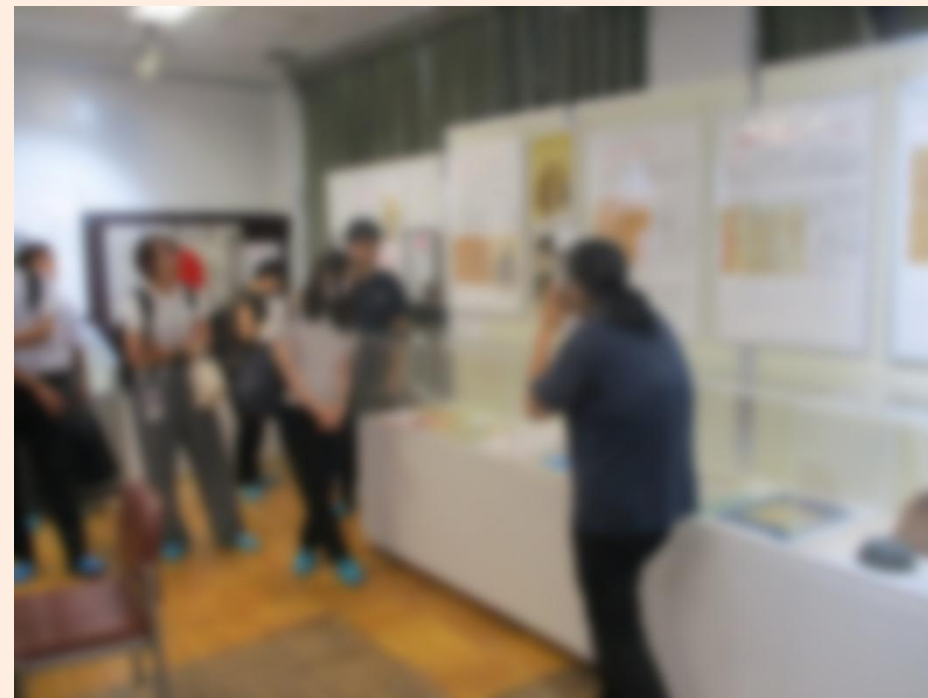
開館時間：9 時～17 時 入館料：無料

日野市郷土資料館 〒191-0042 日野市程久保 550
TEL: 042-592-0981

URL: <https://www.city.hino.lg.jp/museum/>



ふるさと文化
財課（郷土資
料館・新選組
のふるさと歴
史館）と学校
との連携



◆郷土資料館企画展「明日に伝える戦争体験 戦後80年～平和をつなぐ」が開催され、好評を博しました。
実物資料と聞き書きに基づいたストーリー仕立ての展示で戦争を自分事として追体験してもらい、若い世代に戦争について考えるきっかけとなる展示でした。

中学生が描いた絵



展示資料：硫黄島にあった 日本軍兵士の遺品

フィールドワーク研修会では、帝人ファーマ東京研究センター、 富士電機東京工場等を見学

帝人ファーマ東京研究センター* リック設計の本館



富士電機東京工場とまつり塚



旭が丘中央公園内
童謡たき火詩碑（左）
しゅん功記念碑（右）

ファナック日野

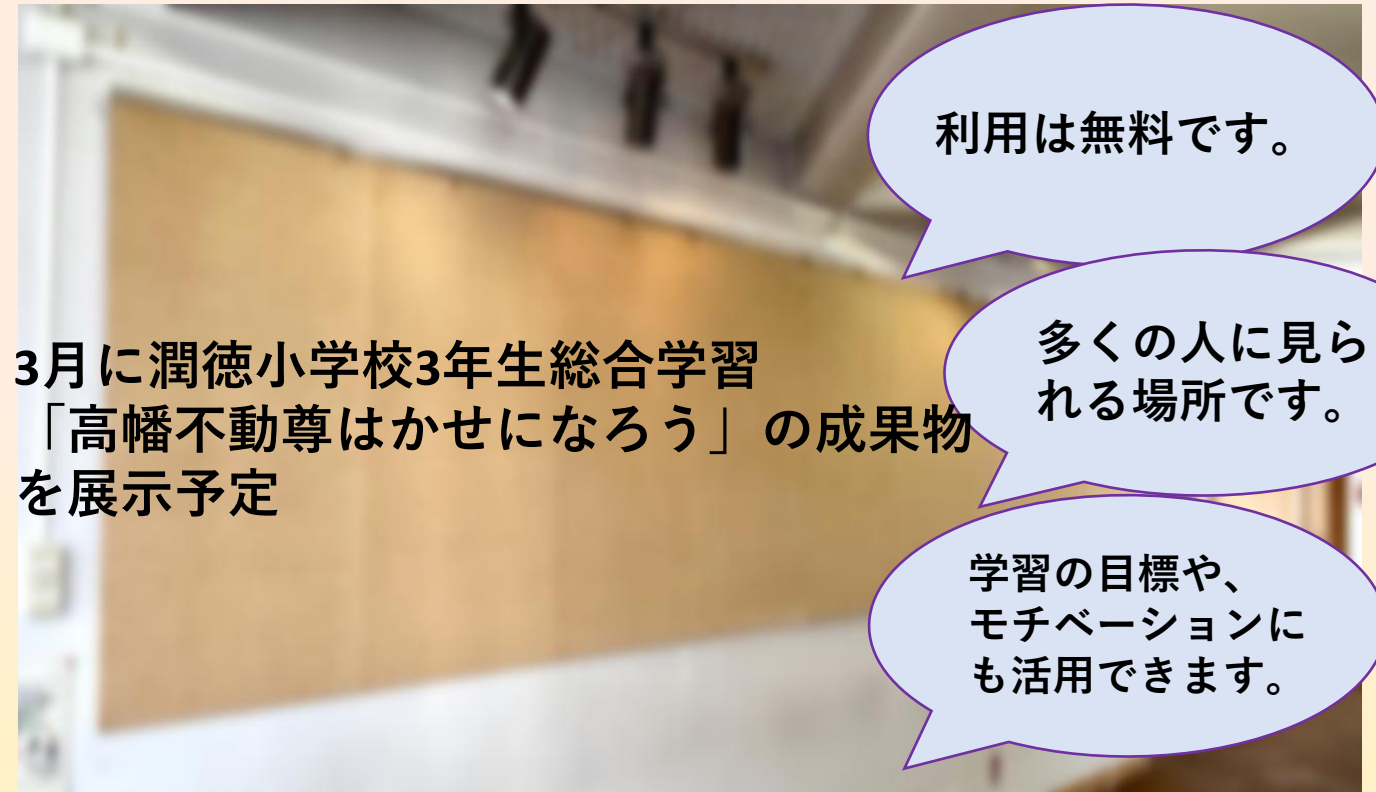


図書館の取り組み

- ・ 中央・百草・高幡図書館のギャラリースペースは小・中学校の学習発表や作品展示に活用できます。



日野の昔話をテーマに展示



3月に潤徳小学校3年生総合学習
「高幡不動尊はかせになろう」の成果物
を展示予定

利用は無料です。

多くの人に見られる場所です。

学習の目標や、
モチベーションにも
活用できます。

学校の学習の成果や子供たちの調べ学習の発表に活用
できる高幡図書館2階「ギャラリースペース」の様子

平山陸稲栽培体験学習



コンテナボックスに田植え 成長して出穂し稲刈りへ 脱穀と唐箕での選別

○貴重な体験ができてとても良かった。

○甘みも感じられ、今回食べられて良かった。

研究の成果と今後の課題

成果

- 歴史や文化、産業等を身近な郷土教材として良さや課題を考えることにより、関心や愛着を子供たちに育てる授業を開発工夫できた。
- 委員自身が日野地域の学びを深めることで愛着が深まり、子供たちへの授業や指導に活かすことができた。
- データベース集から指導案作成が効率よくできた。
- 学芸員等の連携が授業と研究を深めることにつながった。

課題

- 郷土教育が目指す授業の指導方法と学習活動計画の工夫改善のための研究をする。
- 地域の良さを歴史、文化、風土等から、地域の思いや願いを基に地域の課題を考える郷土教材を開発作成する。
- 指導事例集のデータベースを更に活用する研究をする。